

瀬戸内海の 光とともに

南薫造(洋画家)

厳島神社の 社殿を 朱に戻す

(漆工芸家) 六角紫水

「最後の広島藩主」の 威風を伝えた

平櫛田中(彫刻家)
奥田元宋(日本画家)

疎開した故郷で
風景に目覚めて

広島が誇る
近代の
金工の
巨匠

清水南山(彫刻家)

平和への願いを人形に託して 奥田小由女(人形作家)

これが、
県美の
広島愛。

ウェルカムギャラリー #1

被爆体験から
仏教の源流へ
シルクロードへ

平山郁夫(日本画家)

広島県人に
もつとも身近な彫刻

圓鋸勝三(彫刻家)

瀬戸内の幸、竹原の窯
今井政之(陶芸家)

アメリカで
見つけた夢
—「移民県」広島から

小林千古(洋画家)

故郷の友と 競って拓いた 画業

鬨光(洋画家)

郷の山河に
涙する

児玉希望(日本画家)

2021年11月9日

ウェルカムギャラリー誕生

広島県立美術館が所蔵する広島を代表する作家の作品を一堂に展示します。

[開館時間] 9:00~17:00 (金曜日は19:00まで開館) ※入場は閉館の30分前まで
[休館日] 月曜日 ※特別展会期中・祝日・振替休日を除く
[入場料] 一般510(410)円 / 大学生310(250)円 ※()内は20名以上の団体
[縮景園共通券] 一般610円 / 大学生350円 ※特別展は別料金

※高校生以下無料 ※当館で開催中の特別展入館券にて無料でご覧いただけます。
※障害者手帳をお持ちの方や65才以上の方、県内の大学に在学する留学生の方などは無料(1階総合受付でお申し出ください)。

ウェルカムギャラリーは所蔵作品展の入場料でご覧いただけます。



リニューアルオープン25周年を迎える当館では、この秋、2階所蔵作品展展示室内に新たな展示スペースが誕生します。ここでは、当館の成り立ちを紹介する動画とともに、それぞれの美術への関心の度合いに応じて選べる作品解説を用意しております。みなさまへの歓迎の気持ちと、「多くの方々の美術への誘いとなるように」との願いを込め、この場所を「ウェルカムギャラリー」と命名しました。

本ギャラリーでは、年に一回程度、テーマに合わせて展示替えを行います。第1回となる本展では、「これが、県美の広島愛」をテーマに、広島ゆかりの著名作家の代表作を一堂に展示します。作家を育んだ広島という地域の特性や、作家の広島への想いを伝えるエピソードと合わせて、当館が誇る名品の数々をご覧ください。

美術が好きなら、
これから好きになる方も、
お気軽に。



右上:南薫造《坐せる女》 1908(明治41)年
左上:清水南山《波に龍文水瓶》 1937(昭和12)年
下:奥田元宋《秋樹真如》 1977(昭和52)年

Welcome!

森本ケンタ氏、ウェルカムギャラリー・アンバサダー就任!



広島を中心に活躍するミュージシャンの森本ケンタ氏をアンバサダーに迎え、ミニコンサートや対話型鑑賞、作品紹介のインスタライブ(いずれもオンライン)を行います。イベント詳細は、当館ホームページおよびSNSにて随時発信していきます。

【プロフィール】1985年生まれ。広島を拠点に活動。当館でも過去にロビーコンサートを開催。



公式Instagram

アクセス



- ・JR広島駅より約1km ・広島城より約400m
- ・市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白鳥線「縮景園前」下車約20m
- ・ひろしまめいぶる〜ぶ(広島駅新幹線口のりば発着、市内循環バス)「県立美術館前」下車約80m

新たなみどころ

ウェルカムギャラリーの誕生に合わせて、新たな展示や普及事業をおこないます。

1 菅井汲のポルシェ公開

戦後、最も国際的に活躍した日本人アーティストの一人、菅井汲が所有し、創作にも多大なインスピレーションを与えた幻のナナサンカレラRS(1973年式ポルシェ911カレラRS)を展示します。



© Festival

2 『ジュニア鑑賞ガイドブック』の配布

小学校高学年〜中学生向けに、マンガ形式で作品や美術館の楽しみ方を紹介する鑑賞ガイドを無料配付します(部数限定)。



3 アートマンガコーナー新設

さらなる学びへの誘いの場として、美術をテーマとするマンガ(約115冊)のコーナーを1階図書室内に設置します。



◎御来館の皆さまへ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の対策を行っています。御理解と御協力をお願いします。

- 次に該当するお客様は、入館を御遠慮ください。
 - ・発熱や、軽度であっても咳、のどの痛みなどの症状がある方
- 御協力をお願いします
 - ・マスク着用 ・手指のアルコール消毒 ・咳エチケット
 - ・会話は控えめにし、特に大声での会話は行わないでください。
 - ・人と人の接触を避けるため、できるだけ1mの距離を空けてください。
 - ・来館者が多い場合は、入場制限を行う場合がございます。
- 開催情報に変更の生じる場合がございます。最新情報は広島県立美術館(電話・HP・SNS)まで。

◎同時開催特別展

はるかなる古伊万里 400年の物語
2021年10月8日(金)~12月5日(日)

大広重展 一東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界
2021年12月17日(金)~2022年2月6日(日)
※12月25日(土)~1月1日(土)休館

所蔵作品展は同時開催中の特別展入場券でご覧いただけます。

秋の所蔵作品展

名品の森 I

- 【1室(西洋美術)】 生誕130年 マックス・エルンスト
他の美術館から拝借の作品も交え、シュルレアリスムを代表する芸術家を紹介
- 【2室(日本洋画)】 没後110年 小林千古
日本洋画界の先駆けの画業と生きざまを紹介
- 【3室(日本画)】 生誕110年 丸木位里・没後30年 船田玉樹
日本画の前衛を切り拓いた二人の画家の軌跡を紹介
- 【4室(工芸)】 中央アジアの刺繍と衣装 #乙嫁たちの手仕事2
シルクロードの最深处に花開く工芸の世界を紹介

ウェルカムギャラリーは所蔵作品展の入場料でございました。

広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

tel.082-221-6246 fax.082-223-1444

<https://www.hpam.jp/>

